

## 平成23年度「福井新々元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成24年3月末現在)

「福井新々元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成23年7月に知事と合意をした「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成24年3月

政策幹 森近悦治

### I 総括

#### 1 部局の枠を超えた総合政策を県庁の組織力を結集し実現

- ・ 「福井新々元気宣言」に掲げる政策や重要プロジェクトの企画立案のため、「新政策ディスカッション」を主宰し、部局の枠を超えた施策を実現しました。
- ・ 平成26年度の北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道の全線開通に向け、「福井新高速交通ネットワーク活用・対策プラン」を策定しました。
- ・ 福井市とともに「県都デザイン懇話会」を設置し、新たな県都ビジョンづくりに向けた議論を開始しました。

#### 2 先進政策・プロジェクトを県民等と協力し実行

- ・ 全国的に注目された夏場の節電運動「クールライフプロジェクト」を企画立案し、団体、民間企業等の協力を得ながら実行しました。
- ・ 農業用水などを活用した小水力発電や下水処理施設でのガス発電など、地域の特色を生かしたエネルギー源の創生に向けた政策を立案しました。

### II 「政策合意」項目に係る結果について

- ・別紙「平成23年度 政策合意項目に係る実施結果報告(政策幹)」のとおり

# 平成23年度 政策合意項目に係る実施結果報告(政策幹)

(平成24年3月末現在)

## 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	政策幹	氏名	森近 悦治
項 目		実 施 結 果	
1	<b>行財政機構改革</b> <b>◇ 質の高い政策をめざす県庁</b> ・新しい政策づくりをリード【部局連携】 県政の重要課題を解決するため、政策幹と各部の企画幹で構成する「新政策ディスカッション」を主宰し随時開催します。 これにより、部局を超えた政策の方向性を決定し、福井発の新政策づくりを推進します。	[成果等] 目標を達成しました。 「新政策ディスカッション」を開催し、全国的に注目された夏場の節電運動「クールライフプロジェクト」や冬の節電「あったかライフプロジェクト」などを実施しました。 また、新高速交通ネットワーク活用・対策プランのとりまとめや関連事業の企画、県都デザイン戦略の課題検討など部局を枠を超えた新たな政策や事業の立案、レベルアップを図りました。	
2	<b>県土に活気の高速度交通時代</b> <b>◇ 高速交通、物流ネットワークの完結促進</b> ・北陸新幹線活用検討プロジェクトの推進【部局連携】 平成26年度に予定されている北陸新幹線金沢開業に向け、他県の事例調査結果や関係市町・経済界の意見を集約し、観光・ブランド、産業・企業誘致等の視点を盛り込み総合的な対策プランを策定します。	[成果等] 目標を達成しました。 関係市町、経済界、県民からの意見を集約し、福井県新高速交通ネットワーク活用・対策プランを24年3月に策定しました。 知事、首長等による「福井県新高速交通ネットワーク活用推進会議」を設置し、平成24年度からのプランの速やかな実行を申し合わせました。	
2	<b>県土に活気の高速度交通時代</b> <b>◇ 次の50年の都市改造</b> ・県都の「総合デザイン戦略」をスタート【部局連携】 先人が進めてきた戦後復興とまちづくりに学び、次世代に受け継ぐにふさわしい都市づくりについて考える意見交換の場を設け、県都総合デザインについて福井市との協議を進めます。	[成果等] 引き続き実施します。 23年10月に「県都デザインフォーラム」を開催し、県都のまちづくりの議論をスタートさせました。 また、24年2月には、福井市とともに「県都デザイン懇話会」を設置し、新たな県都ビジョンづくりに向けた議論を開始しました。 〔 県都デザインフォーラムへの参加者数 250名 県都デザイン懇話会開催 1回 〕	
3	<b>原子力の安全と信頼の確保に全力</b> <b>◇ 地域振興施策の充実</b> ・電源地域での安心で活力あるまちづくりの推進【部局連携】 「エネルギー研究開発拠点化計画」や「低炭素まちづくりプロジェクト」、「若狭湾岸ハイウェイ観光プロジェクト」等の県政の重要プロジェクトを策定し、電源地域から新たなエネルギー社会の在り方などを全国に発信します。	[成果等] 引き続き実施します。 「エネルギー研究開発拠点化計画」については、「原子力防災・危機管理機能の向上」を充実・強化分野と位置づけた平成24年度の推進方針を策定するとともに、国際原子力人材の育成に関し国内外の関係機関との連携強化や人材育成事業を充実する体制を構築しました。 「低炭素まちづくり」については、平成23年8月2日に「嶺南西部地域低炭素の街づくり推進協議会」を設置し、可能な事業から先行実施しました。 「若狭湾岸ハイウェイプロジェクト」については、「福井県新高速交通ネットワーク活用・対策プラン」の中で若狭の魅力を活用するプロジェクトを盛り込みました。	

## 平成23年度 政策合意項目に係る実施結果報告(政策幹)

(平成24年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	政策幹	氏名	森近 悦治
項 目		実 施 結 果	
「福井新々元気宣言」を進化させる施策 ◇ 人の流れを福井に ・「ふるさと帰住」政策のスケールアップ【部局連携】 人材の県外流出を防止する方策や県外から福井に帰住する方策等について、庁内の意見を集約し、市町と連携した誘致活動モデルをつくるなど、具体的な施策を実施します。		[成果等] 引き続き実施します。 本県出身者が多い県外大学にキャラバン隊を派遣するなど重点的な就職対策を講じました。 また、県外からの著名人の誘致や、人脈づくりの方策について、部局を超えて検討しています。	
「福井新々元気宣言」を進化させる施策 ◇ エネルギー源の多角化 ・新たなエネルギー源を創生【部局連携】 原子力エネルギーに加え、風力、小水力などの可能性を検討し、本県に適したエネルギー源の多角化を実現します。		[成果等] 引き続き実施します。 農業用水などを活用した小水力発電や下水処理施設でのガス発電など、地域の特色を生かしたエネルギー源の創生に向けた政策を立案しました。	